

荒川化学「環境・社会報告書2020」のアンケート結果

「環境・社会報告書2020」に添付しましたアンケートに対し、30名(グループ従業員を除く)の方々から回答をいただきました。ご協力いただいたの方々に対して厚くお礼を申し上げますとともに、その内容をご紹介します。

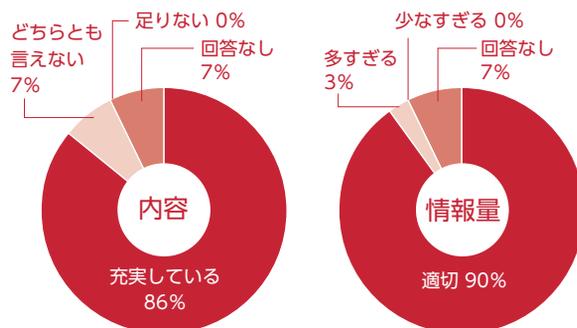
■環境・社会報告書全体への感想

- 世界各地の工場の今がいつも興味深いです。中国・東南アジアの工場で活躍している荒川化学の動向が楽しみとなっています。
- SDGsと「ARAKARA WAY 5つのKIZUNA」の結びつきはぜひもっと進めてほしいです。吉村先生のご指摘もいいですね。
- 荒川化学グループの目指すところがシンプルでわかりやすく、具体的活動と紐づいているレポートが参考になりました。特に、各所に「VOICE」として従業員の声が記載されており、等身大のイキイキとした活動として伝わってきました。
- 富士工場爆発火災事故伝承キャラバン活動、小さな記事ですが印象に残りました。
- 全体的にバランスがとれていて良いと思います。強いて言えばガバナンスについてもう一步踏み込んではいかがでしょうか。
- 環境報告でなにをどうしたらどのくらい減ったという具体的な因果が見えない。中途半端に取り組んでも減らせないようなら、大規模なプロジェクトを組んでは?
- 今後、2030年に向けたSDGsについて荒川化学の目標、経過状況などに盛り込まれることを期待しています。
- 新型コロナウイルスによる状況の中で新しい海外に向けた戦略が必要になってくると感じました。

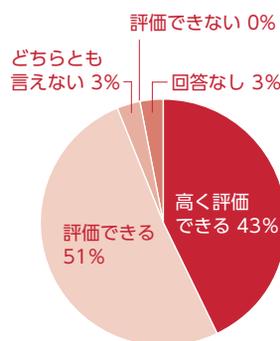
■特集への感想

- グローバル需要に応える貴社の姿勢がよく理解できました。このようなきめ細かな対応ができるのが日本企業の強みです。
- 各国の需要がわかり面白かったです。2021年は新型コロナウイルスに対する製品開発でしょうか。楽しみにしています。
- 普段知る機会の少ない他のグループ企業の製品について情報を得ることができるので、毎年楽しみにしています。
- 事故を風化させず語り継いでいくことは安全を維持・発展させていくためにとても重要であると思います。こうした意味において特集として安全活動に関する対談を構成されていることはすばらしいと感じました。
- 鈴木氏の意見を参考にし、さらなる無事故、無災害を目指していただきたく思います。
- 情報共有の弱さに対してどのような具体策が実施されているのかを注視したいと思う。
- 安全に対する社長の強い思いを感じました。またリスクアセスメントの重要性を再認識しました。

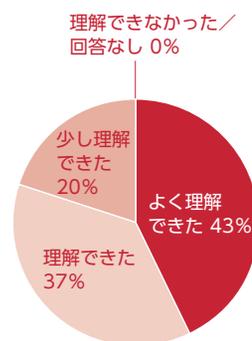
■環境・社会報告書全般について



■環境面、社会面への取り組みについて



■特集について



■参考になった、興味を持たれた項目について (複数回答)

